



KONICA MINOLTA

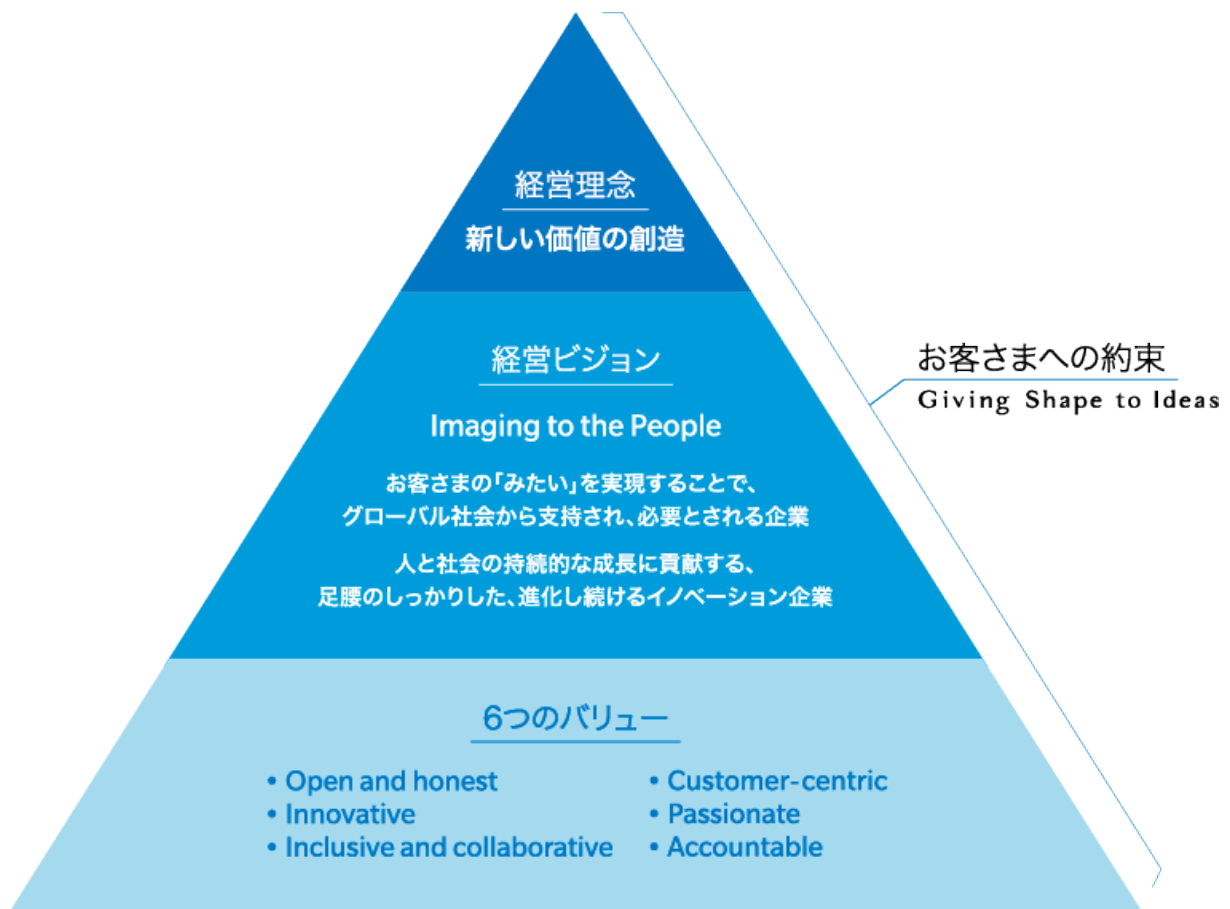
コニカミノルタグループ行動憲章

目次

1. コニカミノルタフィロソフィー
2. コニカミノルタグループ行動憲章
3. コニカミノルタグループ行動憲章ガイダンス

1. コニカミノルタフィロソフィー

コニカミノルタフィロソフィーは、コニカミノルタにとっての軸となる考え方を表したものです。2003年のコニカミノルタ発足以来不変の『経営理念』、2030年を見据えて目指す姿を示した『経営ビジョン』、価値創造の源泉としての企業文化・風土である『6つのバリュー』、そして『お客さまへの約束』で構成されています。



経営理念

新しい価値の創造

「新しい価値の創造」は、2003年のコニカミノルタ発足から不変の、そしてこれからもずっと変わることのない経営理念です。

お客さまのために、そして、その先にいるあらゆる人々のために、私たちはさまざまなカタチで「新しい価値」を創り出し、届けていくことで、人と社会をいつまでも支えていきます。

経営ビジョン

Imaging to the People

お客さまの「みたい」を実現することで、グローバル社会から支持され、必要とされる企業
人と社会の持続的な成長に貢献する、足腰のしっかりした、進化し続けるイノベーション企業

「Imaging to the People」は、2030年を見据えて、コニカミノルタのあるべき姿と社会的存在意義を、その原点かつ強みであるイメージング技術を通じて成し遂げていくことを表した長期の経営ビジョンです。社会の個別化・多様化に対応しながら、人間中心の生きがい追求。同時に、まだ見えていない社会課題を解決しながら、持続的な社会を実現するために、私たちは、5つのマテリアリティを通じて、イメージングの力を、これからの人と社会の力に変えていきます。

6つのバリュー

| | |
|------------------------------------|---|
| Open and honest | 私たちは、正しいと信じることにこだわり、すべての人・社会とオープンで誠実なコミュニケーションをすることこそ、相互信頼と偽りのない真実に裏付けされた長きにわたるパートナーシップを築くと信じています。 |
| Customer-centric | 私たちは、真にお客さまのために存在します。私たちは、常にお客さまの一步先を考え、お客さまと一緒に問題解決にあたり、お客さまが本当に必要とされていることを提供する存在として、期待を超える感動を、現在そして将来に届け続けます。 |
| Innovative | 革新こそ私たちの原動力です。私たちの行うあらゆる活動において常に革新的なアイデアを生み出すことこそ、私たちが進化するための源泉だと考えています。 |
| Passionate | 私たちは、情熱、強い意志、そしてあきらめない心を持つことが、お客さまや社会に真に意義ある貢献をするために不可欠だと考えています。 |
| Inclusive and collaborative | 多様性に満ちた人とその発想、そしてお客さま・パートナー・私たちを取り巻く社会とのチームワークは大きなパワーを生み出します。私たちは、そのパワーが今までにない発想や最大の価値（ベネフィット）を生み出すためになくてはならないものであると考えています。 |
| Accountable | 私たちは、すべての企業活動において、グループ社員としてまた企業として、主体的に実行し、やり切り、かつその結果に責任を持ちます。また、それらの行動を通して持続的社会的実現、コニカミノルタグループの進化に貢献していきます。 |

「6つのバリュー」は、私たちの信条そのものであり、もともと持っているDNAです。私たちがビジネスを通じて接するすべての人・社会に対する具体的な振る舞いや特徴であり、立ち返るべき判断基準でもあります。

お客さまへの約束

Giving Shape to Ideas

「Giving Shape to Ideas」は、人々の「みたい」をイメージングでカタチにすることを宣言した、お客さまへの約束です。

お客さまをはじめとする社会全体の想いをみつめ、それらをひとつひとつカタチにしていくことで、私たちは質の高い社会の実現に貢献します。

世界のビジネスシーンやライフシーンに新たな未来を創造していきます。

2. コニカミノルタグループ行動憲章

コニカミノルタは「新しい価値の創造」という経営理念のもと、「Imaging to the People」を経営ビジョンに掲げ、「人間中心の生きがい追求」と「持続的な社会の実現」を高次に両立させることを目指しています。

この行動憲章は、経営理念、経営ビジョンなどから成るコニカミノルタフィロソフィーを体現するための行動原則を定めており、グループの全ての役員および従業員（以下、これらを「コニカミノルタグループ社員」という。）は本憲章の精神を深く認識し、行動します。

経営陣は本憲章の精神の実現が自らの役割と責任であることを認識し、率先垂範の上、コニカミノルタグループ社員に周知徹底します。また、グループ内外の声を常時把握し、実効あるグループ内体制の整備を行うとともに、企業倫理の徹底を図ります。

1. 顧客・社会への価値の提供

私たちは、人間中心に考え、創造性を発揮して、お客様や社会の課題解決につながる商品・サービスを生み出し、それらを安全性に十分配慮して提供します。

2. 公正・透明な事業活動

私たちは、各国・各地域の法令・規則および社内の規則類・方針上の要請を遵守し、企業倫理の徹底を図り、誠実な事業活動を行います。

3. 環境問題への取り組み

私たちは、環境問題解決への貢献と事業成長を両立させ、ステークホルダーとの連携によってその貢献をより一層高めます。

4. 社会とのコミュニケーションと情報の開示

私たちは、社会課題解決企業として企業価値を向上するために広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を適時かつ公正に開示します。

5. 人権の尊重

私たちは、人権の尊重を事業活動を行う上での基本原則ととらえ、あらゆる差別の排除に努めます。また、ビジネスパートナーなどの関係者に対し、人権を尊重するように求めています。

6. ステークホルダーとの協働

私たちは、ステークホルダーとの接点を、相互の信頼を育み、今までにない発想を生み出すための資産ととらえ、その接点の維持と活用に努めます。

7. 人財育成と組織風土醸成

私たちは、「個」が輝き、「知」を結集して、社会に貢献する価値を創造する人財の育成とそのための組織風土醸成を行います。

8. 責任ある対処

本憲章に反するような事態が発生したときには、経営陣自らが、原因を究明して再発防止策を講じ、社会に対し迅速かつ的確に情報を公開し説明責任を果たします。あわせてサプライチェーンにも責任ある対処を求めています。

2022年4月 改定

3. コニカミノルタグループ行動憲章ガイドンス

コニカミノルタグループ行動憲章をコニカミノルタグループで働く一人ひとりが実践する際の参考にするため、「コニカミノルタグループ行動憲章ガイドンス」を作成しました。

コニカミノルタグループの行動憲章は、全世界共通です。このガイドンスでは、行動憲章の各項目について、全世界のグループの一人ひとりが共通した理解をもち、実践できるように、望ましい具体的な行動を箇条書きで記載しています。また、行動憲章の各項目に対応する既存のグループの方針を本ガイドンスの最後に掲載しました。

グループ内の一人ひとりが、それぞれの国・地域において、このガイドンスを参考に、コニカミノルタの行動憲章を実践するように期待します。

1. 顧客・社会への価値の提供

私たちは、人間中心に考え、創造性を発揮して、お客様や社会の課題解決につながる商品・サービスを生み出し、それらを安全性に十分配慮して提供します。

1-1 社会課題解決を見据えた商品・サービスづくり

コニカミノルタは、働く人々、また社会を構成する多様な人々に寄り添い、それらの人々が抱えるニーズや課題を起点に社会課題と向き合い、その解決につながる商品・サービスづくりに取り組みます。

1-2 創造性の発揮

コニカミノルタは、革新的なアイデアを生み出すことで、お客様や社会の課題解決における様々なコンフリクトやギャップの解消に取り組みます。

また、生産・調達、販売、マーケティング、マネジメントのしくみづくりなど、社内のあらゆる活動において常に革新的なアイデアを生み出すことに取り組みます。

1-3 商品・サービスの品質と安全性の確保

コニカミノルタは、商品・サービスの品質を向上させるとともに、各国の安全基準及び社内で定められた安全基準の双方を満たす商品・サービスを提供します。

コニカミノルタは、お客様の安全に影響を及ぼすおそれが懸念される場合には、その発生・拡大を防止するべく迅速・適切な対応を行います。

万一、商品・サービスに関して事故・トラブルが発生した場合には、迅速・適切な対応を行います。

1-4 ユニバーサルデザインの追求

コニカミノルタは、年齢、性別、体格差や障がいの有無に関わらず、誰もが生き生きと生活できる社会を目指し、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた商品・サービスづくりを実践します。

2. 公正・透明な事業活動

私たちは、各国・各地域の法令・規則および社内の規則類・方針上の要請を遵守し、企業倫理の徹底を図り、誠実な事業活動を行います。

2-1 公正な競争

コニカミノルタは、事業活動を行う各国・地域において適用される独占の禁止、公正な競争、及び公正な取引に関する法令や規則等を遵守します。コニカミノルタグループ社員は、これらの法令や規則で禁止されている、第三者との間での販売価格の維持、市場分割、供給制限等の行為、またはそのような行為に該当すると疑われる行為を行いません。

2-2 責任ある調達

コニカミノルタは、物品やサービスの調達先や委託先を、市場競争力のある価格、品質、その他の客観的な基準に基づき選定します。コニカミノルタは、全ての調達先や委託先が、関連法令の遵守、人権尊重、環境保全および商品・サービスの安全に関するグループの方針に基づいて行動することを求めています。

2-3 腐敗防止

コニカミノルタグループ社員は、事業活動を行う各国・地域において、公務員や政府関係者を含む他者との健全な関係を保ち、社会的常識・国際的通念上過剰と思われるような贈答・接待の授受・その他の腐敗行為を行いません。

2-4 寄付・政治献金、政治活動、スポンサー、チャリティ

コニカミノルタは、政治資金、政治活動については、その必要性、妥当性を十分に考慮し、関係する法令を遵守します。また、コニカミノルタは、寄付および後援については、関連する法令と社内規則を遵守します。

2-5 貿易管理

コニカミノルタグループ社員は、国際的な平和と安全の維持のため、安全保障輸出管理に関する法令・社内規則類を遵守します。コニカミノルタは、輸出する貨物（製品、部品、設備等）あるいは提供する技術（技術情報、ソフトウェア等）が大量破壊兵器の開発・製造やテロ活動等に用いられる恐れがある場合は、取引を行いません。

2-6 インサイダー取引

コニカミノルタグループ社員は、職務や取引に関して知り得た、会社、顧客、ビジネスパートナー等に関する未公表の重要な情報を用いて、株式などの有価証券の売買を行いません。また、コニカミノルタグループ社員は、第三者に対して、それらの情報を提供したり、有価証券の売買を促したりしません。

2-7 情報セキュリティ確保、個人情報の保護

コニカミノルタは、顧客、ビジネスパートナーがコニカミノルタに求める誠実性を保つために、情報セキュリティリスクの低減に責任を負い、広く情報のセキュリティを担保し、損失、不正アクセス、意図しない開示、誤使用が発生しないように適切な対策を講じます。また、コニカミノルタは、顧客、ビジネスパートナー、コニカミノルタグループ社員のプライバシーを尊重し、個人情報を保護し、関係する法令に従って、個人情報の収集、処理、保存等を行います。

2-8 当社及び第三者の機密情報・知的財産の保護

コニカミノルタは、コニカミノルタの機密情報、知的財産の価値を認識し、これらを保護します。コニカミノルタは、第三者の機密情報の重要性を認識し、その保護に努めるとともに、第三者の知的財産を尊重し、その侵害の予防に努めます。

2-9 適正な会計の処理、正確な記録と契約、税金と通関

コニカミノルタは、適切な会計処理を行うために、会社の取引を正確に反映する記録や契約の作成を行います。また、コニカミノルタは、税務申告や通関に対する義務を適切に果たす社会的責任がある事を認識し、国内・国際的なルールに従い、その義務を果たします。

2-10 反社会的勢力への対応

コニカミノルタは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力からの不当な要求には応じません。また、いかなる目的のためであっても、反社会的勢力を利用しません。

2-11 会社の資産の適切な使用

コニカミノルタグループ社員は、会社の資産を適正に管理し、合法的な目的のために、適切に業務のために使用します。

2-12 適切な取引

コニカミノルタは、マネーロンダリング、テロ資金供与などの不透明な取引が発生しないよう、コンサルタントやエージェントを含むビジネスパートナー、顧客に対し、必要なビジネスパートナーチェックを行うよう、努めます。

2-13 利益相反

コニカミノルタは、個人の利益を尊重します。しかしながら、個人の利益と会社の利益が相反する場合、会社の利益を尊重します。

3. 環境問題への取り組み

私たちは、環境問題解決への貢献と事業成長を両立させ、ステークホルダーとの連携によってその貢献をより一層高めます。

3-1 脱炭素社会の構築への貢献

コニカミノルタは、脱炭素社会の構築に向けて、事業活動の全ての段階において、温室効果ガスの排出削減活動に取り組みます。また、ステークホルダーと共に取り組むことで、脱炭素社会の構築により一層貢献します。

3-2 循環型社会の形成への貢献

コニカミノルタは、循環型社会の形成に向けて、限りある地球資源の有効活用の最大化と資源循環に取り組みます。また、ステークホルダーと共に取り組むことで、循環型社会の形成により一層貢献します。

3-3 環境リスク対策の実施

コニカミノルタは、環境リスクの低減に向けて、化学物質の使用・排出量の削減と汚染予防活動に取り組めます。

3-4 生物多様性の保全への貢献

コニカミノルタは、生物多様性の保全に向けて、生態系への影響を軽減するとともに生物多様性保全に貢献する活動に取り組めます。

4. 社会とのコミュニケーションと情報の開示

私たちは、社会課題解決企業として企業価値を向上するために広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を適時かつ公正に開示します。

4-1 積極的で公正、タイムリーな情報開示

コニカミノルタは、法令等によって開示が求められているものはもちろん、それ以外でも、積極的・公正・タイムリーを旨として、有用で信頼性のある情報を開示します。コニカミノルタグループ社員は、かかる情報開示を、会社の定める規則・手続きに従って行います。

4-2 虚偽報告や隠蔽の禁止

コニカミノルタは、社内に対しても社外に対しても、嘘の報告をしたり、不正な事実を隠したりしません。

4-3 幅広いステークホルダーとの双方向コミュニケーション

コニカミノルタは、お客様、消費者、お取引先、従業員、株主、投資家、地域社会、行政、NPO、NGOなどの幅広いステークホルダーとの双方向コミュニケーションを促進します。

4-4 投資家を含む証券市場とのコミュニケーション

コニカミノルタは、株主を含む機関投資家、個人投資家など証券市場向けにIR^{※1}活動、SR^{※2}活動を積極的に展開し、経営トップが積極的に関与します。フェアディスクロージャーの視点から迅速かつ公平にIR情報をお伝えします。

4-5 メディアやアナリストとのコミュニケーション

コニカミノルタグループ社員は、メディアやアナリストなどとのコミュニケーションに際して、各国地域における広報など対応権限を付与されている部門の了承を得て行動します。

4-6 顧客・消費者とのコミュニケーション

コニカミノルタは、お客様、消費者に対して商品・サービスに関する正確で適切な情報提供、誠実なコミュニケーションを行います。虚偽または誤解を招くような広告や、他者を誹謗・中傷したり差別したりする内容の広告を行いません。

4-7 ソーシャルメディアでの発言

コニカミノルタグループ社員は、ソーシャルメディアにおいて、個人としてコニカミノルタに関連した発言をする際には、ソーシャルメディアに関する社内規則や方針を遵守し、不確かな情報を発信せず、コニカミノルタの意見や見解であるとの誤解を与えないようにします。

※1：「IR」はインベスター・リレーションズの略語で、投資家と良い関係性を作り、当社への投資と適正な株価を形成することを目的とする活動です。

※2：「SR」はシェアホルダー・リレーションズの略語で、当社株主と安定した信頼関係を築くことを目的とする活動です。

5. 人権の尊重

私たちは、人権の尊重を事業活動を行う上での基本原則ととらえ、あらゆる差別の排除に努めます。また、ビジネスパートナーなどの関係者に対し、人権を尊重するように求めています。

5-1 国際的に認められた人権の尊重

コニカミノルタは、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、「国際人権章典」および国際労働機関（ILO）の「労働の基本原則および権利に関する宣言」に記された人権を支持し尊重します。

5-2 人権方針の策定

コニカミノルタは、人権を尊重する方針を策定し、その方針を遵守します。

5-3 デュー・デリジェンスの実施

コニカミノルタは、人権デュー・デリジェンスの仕組みを構築し、潜在的または実際の人権リスクを評価・特定し、それらに対処することで、人権への負の影響の防止・軽減に努めます。

5-4 コニカミノルタグループ社員の権利の尊重

コニカミノルタは、コニカミノルタグループ社員の多様性、基本的人権、プライバシーを尊重し、あらゆる差別の根絶に努めるとともに、児童労働、強制労働、ハラスメントなどを排除し、適正な労働時間の管理、最低賃金の確保、安全で衛生的な職場環境の提供、結社の自由と団体交渉権の尊重などに取り組みます。

5-5 事業活動への配慮

コニカミノルタは、サプライチェーンの行動規範に沿って、コニカミノルタグループのサプライヤーとともに責任あるサプライチェーンの維持に努めます。また、お客様のプライバシーを尊重することにより、お客様に社会的な差別をもたらさないよう取り組みます。

5-6 救済措置

コニカミノルタは、人権に関する懸念を通報できる制度を活用し、人権侵害の申し立てがあった場合には速やかに調査し、人権に対する負の影響を直接的に引き起こした、あるいはこれに関与したことが明確である場合、社内外のしかるべき手続きを通じて是正策を講じます。

6. ステークホルダーとの協働

私たちは、ステークホルダーとの接点を、相互の信頼を育み、今までにない発想を生み出すための資産ととらえ、その接点の維持と活用に努めます。

6-1 顧客との協働

コニカミノルタは、お客様からの問い合わせなどには誠実に対応し、お客様の声をよりよき商品・サービスの改良や開発などに反映します。

また自社の商品・サービスが市場でお客様にどのように価値を生み出しているかを把握することで、継続的な価値の提供に取り組みます。

6-2 ビジネスパートナーとの協働

コニカミノルタは、一企業では困難なお客様や社会の課題解決に向けて、同じ想いを持つビジネスパートナーと、相互に資源やノウハウ、情報を補完し合うことで協働します。

6-3 地域社会との協働

コニカミノルタグループ社員は、グローバルな視点を持ち、地域の文化や慣習を尊重した事業活動を行うと共に、事業を通じた地域への貢献の可能性を長期的な視点で考えます。

6-4 投資家との協働

コニカミノルタは、投資家との対話を通じて企業価値の向上を図ります。

7. 人財育成と組織風土醸成

私たちは、「個」が輝き、「知」を結集して、社会に貢献する価値を創造する人財の育成とそのため
の組織風土醸成を行います。

7-1 ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョンの推進

コニカミノルタは、人種、性別、国籍、年齢、障がい、妊娠状況などの目に見えやすいものだけでなく、
性的指向・性自認、宗教、民族、思想、信条、社会的身分、能力・スキル、価値観等の目に見えにくい
ものも含め、コニカミノルタグループ社員（本項において、以下、「社員」）一人ひとりの違いを歓迎します。
そして、その違いを強みと捉え大きな力に変えて、社会に貢献する価値創造ができる組織風土を醸成します。

7-2 社員の能力向上の推進

コニカミノルタは、社員一人ひとりが自身の能力を高め、困難に対し果敢にチャレンジし、社会に貢献す
る価値を創造していきます。そのために、人財への投資を積極的に行い、キャリア形成や能力開発の機会
を提供し、社員一人ひとりが行う業務の価値に基づく公平・公正な処遇を実現します。

7-3 組織・個人のパフォーマンスを最大化する働き方と社員エンゲージメントの向上

コニカミノルタは、社員一人ひとりが最大限力を発揮し、またチームとして最大限力を発揮していくための、
柔軟な働き方を提供します。また、社員の声に常に耳を傾け、タイムリーにアクションを起こし、社員の
エンゲージメント向上につなげます。

7-4 社員の安全・安心の確保

コニカミノルタは、社員一人ひとりが最大限力を発揮する上でベースとなる健康経営を強力に推進します。
職場の安全と社員一人ひとりの健康の維持、増進を基本に、日常の予防活動に重きをおいた労働安全衛生
への取り組みを行い、社員が安全で安心して働く職場環境を確保します。

8. 責任ある対処

本憲章に反するような事態が発生したときには、経営陣自らが、原因を究明して再発防止策を講じ、社会に対し迅速かつ的確に情報を公開し説明責任を果たします。あわせてサプライチェーンにも責任ある対処を求めています。

8-1 体制の整備

経営陣は、本憲章に反するような事態に関して、i)未然に防止するための体制、ii)早期に発見するための体制、iii)問題解決にあたるための体制を整備します。

8-2 コンプライアンスに関する報告と報復禁止

コニカミノルタグループ社員は、本憲章に反するような問題を発見した場合に、速やかに上司、会社内の適切な部署または各社や各地域の通報窓口へ報告します。コニカミノルタは、誠実に報告を行った人や、問題の調査に協力した人に対するいかなる報復行為も許しません。誠実に報告したコニカミノルタグループ社員は、公正かつ丁寧に扱われます。

8-3 経営陣の責任

経営陣は、本憲章に反する重大事態が発生した場合には、事実調査、原因究明を行い、企業としての責任ある適切な対応方針・施策を打ち出し、社会に対して、事実関係、対応方針、再発防止策等について迅速かつ的確な説明を行います。また、経営陣は、本憲章に反する事態に関して責任を明確にし、必要に応じて自らを含めて厳正な処分を行います。

8-4 危機管理に対する姿勢

コニカミノルタは、市民生活や事業活動に脅威を与える自然災害、サイバー攻撃、感染症、テロ、事故等に備え、組織的な危機管理を行います。各種災害の発生時には、事業活動の早期復旧を目指し、ビジネスパートナー、顧客への影響の最小化に努めます。

関連するグループの方針類

| 行動憲章項目 | 行動憲章 ガイダンス項目 | 方針等 |
|--------|--------------|------------------------------------|
| 1 | 1-1,1-3 | <u>コニカミノルタ品質方針</u> |
| | 1-1,1-3 | <u>コニカミノルタグループ AI の利活用に関する基本方針</u> |
| 2 | 2-2 | <u>コニカミノルタ調達方針</u> |
| | 2-7 | <u>コニカミノルタ情報セキュリティ基本方針</u> |
| | 2-7 | <u>コニカミノルタグループ個人情報保護方針</u> |
| 3 | 全般 | <u>コニカミノルタ環境方針</u> |
| 4 | 4-7 | ソーシャルメディアガイドライン (非公開) |
| 5 | 全般 | <u>コニカミノルタグループ人権方針</u> |
| 7 | 7-4 | <u>コニカミノルタ労働安全衛生方針</u> |

発行 : 2011 年 4 月 1 日 第 1 版

改定 : 2016 年 1 月 第 2 版

改定 : 2022 年 4 月 第 3 版